



最優秀賞

奈良県遊技業協同組合  
「『平城遷都1300年記念事業協会』への支援」事業



奈良県遊技業協同組合 理事長  
金田元吉さん

選考理由

社会貢献活動審査委員会 委員  
松尾守人氏



奈良県が取り組む国家行事「平城遷都 1300年記念事業」を支援するという、今日性のあるタイムリーな社会還元である。加えて、日本赤十字社を通じての義援金、20年以上にわたる救急車など消防関係車両の寄贈、毎年チャリティゴルフを開催しての福祉施設への寄附など、年間2,000万円以上の社会還元が継続して行われ、その認知度、期待度は高い。こうした地域密着の社会貢献活動も併せて評価される。

国の始まりに想いを馳せるエポックメイキングなプロジェクトに協賛

いにしえをしのぶ一大イベントに協賛

周年事業や周年イベントには、心改まるものがある。それを機に、過去に想いを馳せたり、未来に向けて決意を新たにするための格好の節目や区切りとなる。

奈良に平城京が誕生し、藤原京から都が遷されたのは710年のこと。日本が国家としての形を整え始めたのが、まさに奈良に都が置かれていた奈良時代であった。そのことを祝うとともに、日本という国の原点を見つめ直すためのイベントとして、奈良では今年、「平城遷都1300年祭」が開催されている(1月1日～12月31日まで)。

平城宮跡のメイン会場を中心に県内各地でさまざまな催しや記念行事が行われているが、奈良県遊技業協同組合では、それらの運営にかかる費用の一部を支援することを決め、昨年11月に主催者である平城遷都1300年記念事業協会に1300万円を寄贈した。

「当組合は、決して大きな組合ではありません。しかし、これまで常に地域に密着したタイムリーな社会貢献を心がけ、それを継続して行ってきました。現在、奈良県が中心となって取り組んでいる平城遷都1300年記念事業は、わが国の国家の始まりをお祝いするような意味のあるもの。その画期性に鑑みて、9月の理事会で、奈遊協として協賛してはどうかという意見が理事の間で大勢を占めましたので、このたび資金支援という形で協賛することになりました」

そう語るのは、奈遊協の金田元吉理事長。組合傘下のパチンコホールでは、店頭キャラクターの「せんたくん」をあしらったのぼりがひるがえり、店内にはポスターが掲示されるなど、ホールの来店客や近隣住民に対する平城遷都1300年祭のPR活動に一役買っている。

人命救助活動を支援する  
救急車などの寄贈を継続

今回の記念事業への協賛金拠出は学術・文化分野への協賛というきわめて象徴的なものだが、これまでも奈



奈良県知事に協賛金1,300万円を寄贈し、感謝状を受け取る金田元吉 理事長



奈良県内の消防局に対し、救急車43台、高規格救急車5台、指令車30台の計78台を寄贈している



奈良新聞に掲載された  
チャリティゴルフコンペ開催活動



平城遷都1300年祭の「のぼり」と「ポスター」  
組合傘下のパチンコホールに掲示イベントをPRしている

遊協では社会的地位向上のために「地域社会と共生するホール」を目指し、金田理事長を中心に数々の社会貢献活動に熱心に取り組んできた。とくに注目されるのが、平成元年から取り組んでいる人命救助活動を支援するための寄付・寄贈である。奈良県内の消防局(本部)に対し、これまで救急車43台、高規格救急車5台、指令車30台の計78台を寄贈している。これらの車両には奈遊協の名前が入っているため、一般の認知度も高い。

また、平成13年から毎年、ゴルフ場を1日借り切ってチャリティゴルフコンペを開催し、その収益金を社会福祉施設や児童福祉施設などの23施設に寄付している(総計1,530万円)。ホールを訪れるお客様の中には、この大会への参加を心待ちにしている、電話で開催の有無

を問い合わせる人もいるという。

このほかにも、暴力追放活動、防犯活動、更生保護事業、犯罪被害者支援、青少年育成、共同募金などの幅広い分野で、協力金の寄付を中心とする社会貢献・地域貢献を継続的に行っている(年平均約2,200万円)。こうした活動は組合員の誇りであるとともに、「ごく当たり前のこととして、組合員の間に根づいている」(下村優専務理事)という。それらの活動の継続性や社会的意義が評価され、県内の新聞社やテレビ局などから取材を受けることも恒常的になっている。これからも「地域に密着したタイムリーな社会貢献」をキーワードに、実効性のある事業をさまざまに展開していくことは間違いない。